



## 防衛、防災、安全のための の商品を輸入販売

### 善衛商事

<http://www.zen-ei.com>

土肥研一社長のプロフィール

生年月日/1951年11月2日

出身地/福岡県

最終学歴/同志社大学法学部

趣味/ゴルフ、自転車

尊敬する人物/緒方竹虎

座右の銘/「継続は力なり」

「9・11」を契機に日本社会の安全・安心に貢献したいと「防衛、防災、安全のための商品」を輸入販売する。とりわけ「3・11」以降は放射能対策商品や復興支援事業に心血を注ぐ使命感の持ち主だ。

——社長の代で業態転換され  
たとか。

**土肥** 父が薬と化粧品の小売りと卸をしていた前身の会社を、2001年に主に防災・防弾・セキュリティ用品の輸入販売を行う現業に業態転換しました。

——きつかけは。

**土肥** 「9・11」テロです。その時に防衛もしくはセキュリティを業にしようと思った。これは米国だけの問題ではないと思いました。妻が米国人ということがあったかもしれないんですが、使命感と言ってもいいと思います。私は前から日本の防衛を危惧していました。ですから「9・11」を契機に国に対して世界最高クラスの保安製品情報を提供し、以来、(国)海上保安庁などに商品を卸していま

す。02年の日韓ワールドカップをはじめ、最近では「3・11」震災関連商品などその用途・用途は多くあります。当社はこれから日本社会の安全・安心に貢献したいと思っています。

——現在最も注力するのは。

**土肥** 放射能対策です。これもある意味戦争ですよ。ですから主に欧米の線量計はじめ除染剤(テイコンジェル)などの製品情報の提供はもとより、地元での放射線除染活動に積極的に参加・協力しています。

当社の使命は「防衛、防災、安全のための商品を紹介」することです。その第1段階がテロ対策、第2段階が放射能対策、そして第3段階がこれから始まる復興対策だととらえています。既にイスラエルから最新の安心・安価な「野菜工場」「魚工場」のシステムを紹介しています。砂漠が多いイスラエルは農業と工業分野に集中投資し、今や水資源、農業、クリーンエネルギー分野では最先端国で、高い食料自給

率を誇っています。

——被災地域での新しい産業のヒントですね。

**土肥** 加えて、日本の農業の「儲からない」イメージを解決し、農業の担い手の裾野を広げたいということもあります。例えばエンジニアの会社員が20年間勤めたら後の20年間は農業をやりたいと言っても、これまでできなかった。でもこのシステムなら可能になる。つまりサイエンスとアグリカルチャーが結び付いたショーケースを見せてあげたいと考えています。

——夢がありますね。

**土肥** その向かう先は福祉施設です。健常者のサポートが必要な方でも社会に貢献できる場が必要だし、普通の生活ができる社会であるべきです。そしてそのためにもこういったビジネス手段が必要なのです。

#### 【会社データ】

設立/1974年5月  
資本金/1千万円  
従業員/5人  
所在地/東京都港区